



日本共産党
北茨城市委員会
選挙対策課1000-2

毎週 日曜日 発行
インターネットでも
ご覧いただけます

http://www.jp-kbh.com/

ご相談は
お気軽に

市議会議員
福田 明
43-0468

市議会議員
鈴木やす子
42-2462

統計でみる北茨城市の姿

10年前と現在を「統計きたいばらき」で比較する

市は毎年、人口や産業、福祉等々の資料を収集して、「統計きたいばらき」を発行しています。たとえば10年前と今日を比較してみると、北茨城市の推移や実態今後の課題が浮かび上がってきます。特徴的な数値について比較してみたのが下表です。

これをみると、人口は減少傾向をたどり、10年前は出生数が死亡率を上回っていましたが、現在は死亡数が出生数の1・6倍となっています。

税金が増えているのに、1人あたりの予算額は減少している実態も明らかになりました。

農業・漁業・商業の従事者や店舗数の減少も顕著です。とくに大津港・平潟港では漁船数が減少するなかで、漁獲量は半分以下に激減しています。観光客は5割以上の増加です。

こうした実態を概観して、日本共産党市議団は、「出生数を上げるためにも、乳幼児医療費の無料化など、若い世代が子どもを



石炭の露頭

中郷町の十石堀親水公園の近くで石炭の露頭を見ることができます。案内してくれた松井のNさんからは、「ここに階段を整備して市民が見学できるようにしてはどうか」という提案もいただきました。

「統計きたいばらき」で比較する10年前と現在の姿

	1996年(平成8年)	2006年(平成18年)
人口	52074人	49646人
1世帯あたり	3.3人	2.9人
65才以上の人口	8974人	11230人
出生 1日あたり	1.4人	0.9人
死亡 1日あたり	1.2人	1.5人
結婚 1日あたり	0.8組	0.6組
離婚 1日あたり	0.2組	0.3組
医師	1134人に1人	999人に1人
歯科医師	3068人に1人	2269人に1人
市職員	74.3人に1人	80.8人に1人
救急車 1日あたり	3.1件	4.8件
市予算 1人あたり	32万7112円	29万4644円
市税 1人あたり	10万2239円	11万9028円
専業農家数	225戸	101戸
漁船数	157隻	101隻
大津港漁獲高	29億9479万円	10億2136万円
平潟港漁獲高	9億9546万円	4億2136万円
商店数	701店	568店
工場・事業所(4人以上)	268事業所	202事業所
事業所・従業員数	7419人	6583人
観光客数(1年間)	908500人	1438378人*
小学校児童数	3971人	2880人
中学校生徒数	2235人	1599人

* 06年の観光客数には、従来の花園溪谷、五浦海岸、磯原二つ島海岸、雨情記念館のほかに天心美術館、中郷温泉「通りゃんせ」、「港まつり」を加えた。

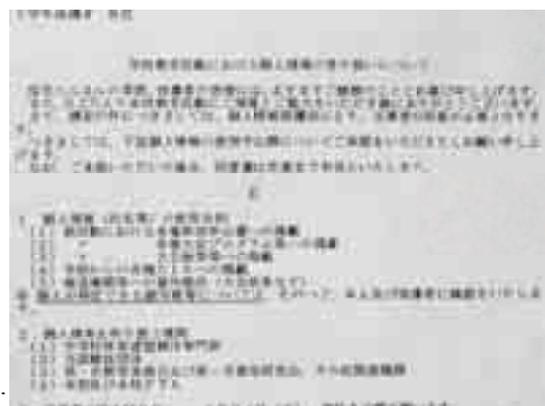
生み育てやすい環境を整備することが必要。

漁業の衰退は残念だが、同時にそうした実情を無視して漁港整備に毎年、多額の市税を投入してきたことはムダ使いと指摘せざるをえない。

また、市民には増税をかけたながら、市民への予算配分が減少しているなど、市民の暮らしがますます厳しくなっている実態が明らかになっている。今後とも市民のいのちと暮らしを守るために力をつくす」と述べています。

個人情報保護と学力テスト

中学校の新生入生に左のような文書が配布され、生徒の情報の取り扱いについて、当事者の同意が求められています。個人情報保護法との関係です。



いっぽう、一斉学力テストが本市でも実施され、教科以外の調査項目もある解答用紙が民間企業に送られます。当事者の同意について、市教育委員会と学校に問い合わせてみましたが、認識は高いものではありませんでした。ひきつづき注視しなければならぬ問題です。